



◎準備するもの／色鉛筆、カッター、はさみ

①「いろぬり面」の色をぬる

②灰色(★カッターで切り抜き)の部分を切る

③まわりの「きりとり線」をはさみで切る

④土台の切り込みを2箇所いれる

やまおり線・たにおり線にしたがって点線を折る

⑤アマビエの内側に自分の名前を書き、組立てて完成

⑥完成したら、写真を撮って、

ハッシュタグ「#わたしのアマビエ」でSNSにアップ!

無病息災の祈りを広げましょう！



土台

無病息災祈願
ペーパークラフト
『アマビエ』
無病息災を祈願し
飾りましょう

諫早神社
九州総守護四面宮

やまおり ▼ たにおり ▽ やまおり

逆の面から
波を差し込む↓
△ 切り込み
やまおり
△ 切り込み
↑ 逆の面から
アマビエを差し込む

www.isahaya-jinja.jp

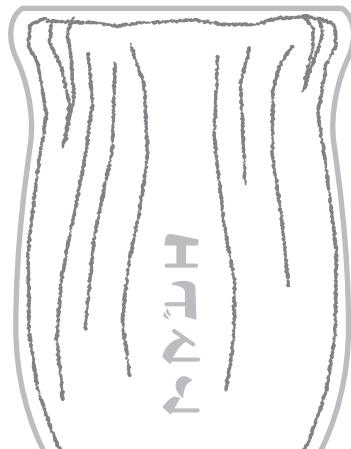


きりとり線
やまおり線
たにおり線



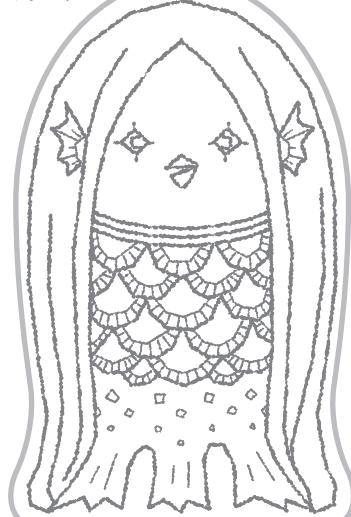
完成図

◀ いろぬり面

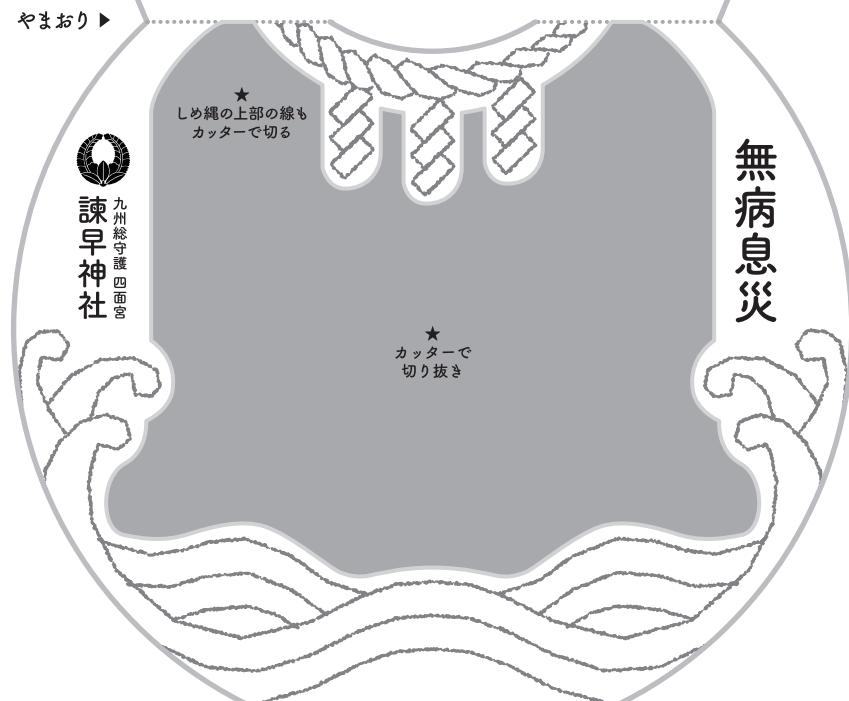


やまおり ▶

◀ いろぬり面



◀ いろぬり面



諫早神社
九州総守護四面宮

★しめ縄の上部の線も
カッターで切る

★カッターで
切り抜き

無病息災

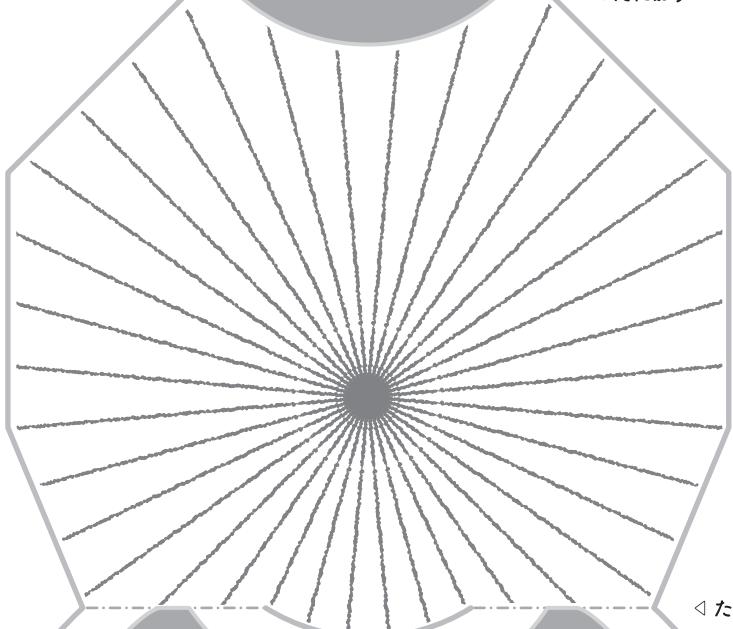
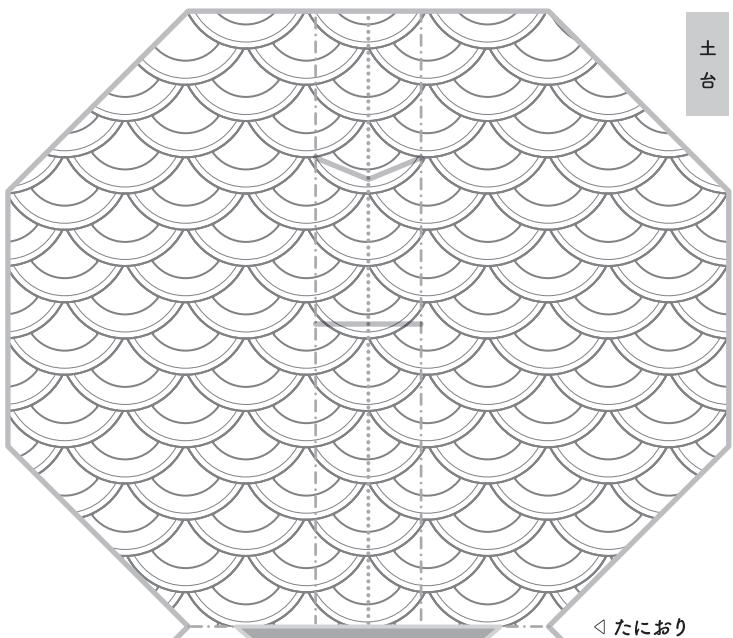
やまおり

△たにおり

△たにおり

土台

▲いろぬり面／うみ



▲いろぬり面／ひかり

◆アマビエとは
日本に伝わる妖怪。光輝く姿で海中から現れ、豊作や疫病などの予言をすると伝わっています。

その姿は人魚に似ていますが、口はくちばし状で、目は菱形黒目と白目があり、耳らしいものあり。体はウロコに覆われていて足は3本という特徴があります。

江戸時代の肥後国（現熊本県）のお話。当時の文献に、毎晩のように海の中で光るものが出没するため、役人が向かったところ、アマビエが現れたという記録が残っています。

アマビエは、役人に對して「私は海中に住むアマビエと申す者なり」と名乗り、「当年より6ヶ年の間は諸國で豊作が続くが疫病も流行する。私の姿を絵に描いて人々に見せよ」と告げたとされています。

（出典 京都大学貴重資料デジタルアーカイブ）

◆諫早神社
長崎県の神社。もともと諫早神社は「四面宮」と言って、九州総守護の神社です。また、健康や病気平癒の御利益で知られる神様をおまつりしています。その尊き御神徳は、これまで本や雑誌などでも紹介されました。

アマビエは九州に現れた疫病退散の妖怪。そして、諫早神社は九州総守護の神社であること、健康の御利益で知られていることから、今回「無病息災」の祈りを込めたアマビエのクラフトぬりえを配布することにしました。諫早神社では疫病退散の神事を行い、無病息災の祈りを捧げています。

◆アマビエのクラフトぬりえ
皆さんお一人お一人の手でぬりえを完成させて、アマビエに命を吹きこんでください。無病息災の祈りの輪が広がっていくことを願っています。

